

本事例集の見方

本事例集は、山村地域を取りまく様々な状況を踏まえ、山村が抱える主要課題を以下の4つに分類しました。

- 課題1：山村地域の農林業再生
- 課題2：山村集落での生活機能の維持・確保
- 課題3：都市との交流、移住・定住の促進
- 課題4：山村地域の歴史・文化・景観の保全・活用

また、各課題に対して、合わせて20の対策を取り上げました。課題ごとにそれぞれの対策において、「特集事例」、「参考事例」を紹介しています。巻末には取組内容による逆引き索引を用意しました。

特集事例については、4ページの構成で、以下の6項目について整理しています。

- 背景と課題
- 取組と成果
- 活用した組織と制度
- 取組のきっかけ
- 山村振興のキーポイント
- 今後の課題・展望

また、取組の実践者らの「生の声」を、インタビューとしてまとめています。

1 -1 農林業の新たな担い手

自伐林家の森の復活で森林と山村の再生！ 林地残材の収集運搬システムが地域システムに昇華

土佐の森・救国隊では荒廃が進む山村において、森林ボランティアや退職者のセカンドアクトとして参加可能な森林整備活動に取り組んでいる。中でも林地残材の収集運搬システムの導入は、森林整備による間伐材収入とあわせて副産物の収益も得られ、環境保全だけでなく新たな森林形態の仕組みを構築している。

高知県知事
NPO法人 土佐の森・救国隊
所在地：〒781-6122
高知県高知市西堀1-10号
代表者：長谷川 大輔
連絡先：090-8973-6752

高知県の町
総人口：27,550人
高齢化率：28.1%
産業数：11,184団体
総面積：47,071 km²

取組と成果
低コストの森林整備、副業やアルバイト式林業家の増加

取組のきっかけ
前知事が森林ボランティアを提唱

活用した組織と制度
地域連携「モリ（森）事」の発行

今後の課題・展望
様々な交流活動と人材育成、学習事業の実施